

# 市税完納の申請条件の見直しを

大谷市議は12月議会で、市の中小企業等物価高騰緊急支援事業の申請状況と、申請時の市税完納条件について改善を求めました。部長は「完納条件を見直すことは難しい」と述べましたが、周知の方法は検討すると述べました。

この事業は10月5日から申請を受け付けています。この申請状況について質問。

商工観光部長は「11月末現在696件申請額は6547万円となっている。当初、利用件数を5560件と見込んだが、少ない。広報で知らせ、関係団体に案内する」「法人事業主に



部長は、「国の交付金と市の財源を活用しているのに条件を見直すことは出来ないが、市税を期限内に納付することが困難な方で、徴収の猶予制度の適用を受けた方は、補助金の交付対象にしている」と答弁。

部長は「徴収猶予の制度があることも含めて、周知の方法について考えていきたい」と答弁。引き続き改善を求めたいと述べました。



# 市の中小企業等物価高騰対策の改善

## 国に実施延期を求める請願、賛成少数で不採択

くらしと平和を守る日田地区連絡会(栗山崇代表、6団体参加)は、12月議会に「消費税制インボイス制度の実施延期を求める国への意見書の提出を求める請願」を提出していました。表のように請願の採決の結果は賛成少数で不採択となりました。

消費税免税業者はインボイスが発行できないために、課税業者との取引で排除されることや値下げ圧力により廃業を余儀なくされる懸念がある。日本商工会議所や税理士団体、シルバー人材センター、フリーランスなどの団体も実施延期を求めているので国に意見書を提出すべき

市政クラブを代表し財津幹雄議員はこの制度は適正な課税を行なうための有効な制度「導入にあたって経過措置を設けている」「制度導入準備のため」の支援措置も準備されている」と請願に反対する討論をしました。

# インボイス制度実施の延期を

ように述べました。「2023年10月からこの制度が実施されようとしているが、

会派名	議員名	賛否
共産党	大谷敏彰	○
	日隈知重	○
市政クラブ	財津幹雄	×
	岩見泉哉	×
	安達明成	×
	梅原竜也	×
	佐藤 功	×
	原田裕文	×
	宮崎陽治	×
市民クラブ	溝口千壽	欠
	井上正一郎	○
	梶原信幸	○
	中島章二	○
新世ひた	飯田茂男	×
	石橋邦彦	—
	居川太城	×
公明党	三苫 誠	×
	松野勝美	×
無所属	坂本 茂	欠
	坂本盛男	×
無所属	中野哲郎	×
無所属	高倉貴子	○

(注) ○は賛成、×は反対 欠は欠席、—は石橋議長、採決に加わりません。